

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：青少年対策費

事業名 青少年育成県民会議事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

子ども・女性部 子ども・女性政策課 青少年係 電話番号：058-272-1111(内3520)

E-mail：c11239@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 177 千円 (現計予算額： 6,460 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	6,460	0	0	0	0	0	0	0	6,460
補 正 要求額	177	0	0	0	0	0	0	0	177
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

青少年健全育成事業の効率的な推進を図るため、県の諸施策に加え、民間主導による県民総ぐるみの活動の展開との協働が必要である。

(2) 事業内容

青少年育成県民運動の唯一の県内組織である(公社)岐阜県青少年育成県民会議に対して補助を行っているが、人件費単価が増額したため、不足する予算について増額を行う。

<岐阜県青少年育成県民会議の主な事業>

- ・青少年健全育成県民大会
- ・広報誌等作成 ・環境浄化対策事業
- ・啓発活動推進 ・地域のおじさんおばさん運動 ・補導活動推進
- ・青少年団体、少年補導員等の顕彰 ・青少年育成アドバイザー研修
- ・ネット安全・安心ぎふコンソーシアム普及啓発事業
- ・家庭の日推進事業 ・少年の主張大会 など

(3) 県負担・補助率の考え方

青少年健全育成にかかる事業費及び人件費の一部を定額補助

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	177	事務局 1 名分の人件費
合計	177	

決定額の考え方

県単独補助金事業評価調書

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	青少年育成県民会議補助金
補助事業者（団体）	公益社団法人岐阜県青少年育成県民会議 （理由） 本県における青少年の非行を防止し、健全な青少年の育成を図るため。
補助事業の概要	（目的） 本県における青少年健全育成事業の効率的な推進を （内容） 青少年育成県民運動を主体的に実施する岐阜県青少年育成県民会議に対し補助を行う。
補助率・補助単価等	定額・定率・ その他 （人件費相当額） （内容） 青少年健全育成にかかる事業費の一部及び人件費の （理由） 県の施策と協働を図りつつ、県内全域の県民運動の指導的役割を担う必要があるため。
補助効果	岐阜県青少年育成県民会議は、市町村民会議や関係機関との連携を図りながら、県の施策と相呼応した県民運動を実施しており、県における青少年健全育成施策の効果的な活動展開の実施主体としての役割を担っている。
終期の設定	令和7年度 （理由） 終期到来時の達成状況や事業運営状況等を踏まえて、方針を検討。

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

青少年健全育成事業の効率的な推進を図るため、民間主導による県民総ぐるみの活動の展開との協働を実施する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H26)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
地域のおじさん おばさん新規登録者	1063	189	1200	1200	1200	16%

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度
	4,425	4,924	5,219

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	岐阜県青少年育成県民会議は、青少年健全育成を推進するうえで、県の施策と協働、また市町村民会議等の関係機関との連携を図りながら、県民運動の指導的な役割を果たしてきた。
令和5年度	岐阜県青少年育成県民会議は、少年の主張大会等の施策において県と協働し、各圏域の青少年育成推進指導員を中心に、青少年の健全育成の推進に積極的に関わってきた。また市町村民会議等の関係機関との連携を図りつつ、県民運動の指導的な役割を果たしてきた。
令和6年度	令和8年度当初予算にて追加

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない	
(評価) 2	地域青少年の健全育成の為には、県の諸施策だけでなく、民間主導による県民総ぐるみの活動の展開との協働が必要である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2:期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1:期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0:ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている	
(評価) 1	県民総ぐるみの活動を展開できる組織は青少年育成県民会議において他になく、当団体を支援することは効率的な県民運動の展開につながっている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 県施策との連携・協力を推進しながら、青少年育成県民会議の活動の周知に努めることで、社会全体での青少年育成支援の機運醸成と取組の効果的な展開を図る。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 岐阜県青少年育成県民会議は、青少年健全育成を推進する県と協働し、市町村民会議や関係機関との連携を図りながら、県民運動の指導的役割を果たしてきた。今後も、効果的な活動を推進するため、継続して必要な支援を行う。
--